

「藤枝での2年間の初期研修を振り返って」

2年次 伊藤 悠稀

2年前に藤枝に来た時には社会人としての労働も初めてで、何をしたらいいのかも全くわからないまま研修が始まりました。しかしながら、上級医の先生方や先輩方をはじめ、周りの方々のサポートのおかげで周りにご迷惑をおかけしつつもなんとか藤枝での2年間の初期研修を終えることができそうです。

2年間を振り返ってみるとあっという間で、初期研修が終了する3月になった今考えると初期研修の間に学んでおきたかったことが山のように思い浮かびます。もっと積極的に診療に参加するべきだった、もっと自己研鑽するべきだったなど挙げ始めたらきりがありませんが、まずは無事に初期研修を終えることができそうでほっとしています。

同期にも恵まれ、一緒に遊びに行ったり、飲みに行ったり藤枝でたくさんの思い出ができました。研修の中で大変に感じる期間もありましたが、同期と支え合うことで乗り切ることができました。藤枝市立総合病院で初期研修をすることができて本当によかったと思っています。

来年度からは精神科専攻医として後期研修をすることになります。藤枝の初期研修で学んだことを活かして、より一層研鑽に励みたいと思います。2年間本当にお世話になりました。ありがとうございました。



研修センター通信

vol. 150-1

令和6年3月31日

発行:教育研修センター

2年次 内山 咲良

まずは、右も左もわからない状態で入職した自分をたくさんサポートしていただいた当院の皆様に、厚く御礼申し上げます。医師として、少しでも皆様に貢献できていたなら、それは私にとってもこの上ない喜びです。

研修医生活はとにかく人に恵まれていました。この2年間辛いことがなかったわけではないですが、同期は皆優しく、研修医室が安心できる場所になっていました。また、同期だけでなく松田さんや教育研修センターの先生方、羽根さんや望月さんをはじめとして、研修医に関わっていただいた皆様にも、いつも暖かく見守っていただいていたと思います。皆様のおかげで2年間、のびのびと過ごせました。

医師としての成長には、正直自信はありません。積み上がってきたものはゼロではないと思いますが、子供の頃、大人になったらどのくらい自分は変わるんだろうか、と想像していたより自分が未熟であるのと同じように、自分の医学に対する知識や診療に対する自信は思っていたよりはつかなかったというのが正直なところです。最大の学びは、自分で学ぼうとしない限り向上はできない、という点で、それはこれから産婦人科に進む中でも肝に銘じておきたいと思っています。



令和5年度

& 藤枝ドクターズクラブ

初期研修医修了式

3/23
(土)

10:30~
14:30
小杉苑

ご都合のつく方はぜひご出席下さい。新しい門出を祝福しましょう。